



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト・テック
コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 小川毅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村井範之

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	15,144	17.3	1,057	8.5	1,078	8.0	679	14.6
26年6月期第3四半期	12,909	17.0	974	131.5	998	102.3	592	104.3

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 680百万円 (14.9%) 26年6月期第3四半期 592百万円 (107.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	70.85	70.11
26年6月期第3四半期	62.30	61.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	6,564	4,025	61.3
26年6月期	6,455	3,832	59.4

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 4,025百万円 26年6月期 3,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	20.00	—	30.00	50.00
27年6月期	—	25.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年6月期第2四半期末配当金20円00銭の内訳: 普通配当金10円00銭記念配当金10円00銭(東証第二部市場変更記念配当)

平成26年6月期期末配当金30円00銭の内訳: 普通配当金20円00銭記念配当金10円00銭(東証第一部銘柄指定記念配当)

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	24.7	1,780	37.8	1,800	36.5	1,080	35.4	112.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期3Q	9,610,500 株	26年6月期	9,558,500 株
27年6月期3Q	42 株	26年6月期	42 株
27年6月期3Q	9,585,370 株	26年6月期3Q	9,515,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年7月1日～平成27年3月31日）におけるわが国経済は、新興国の成長率鈍化、円安による原材料価格の上昇、消費増税に伴う個人消費の低迷などがあるものの、総じて緩やかな回復基調が続いており、企業収益の改善に伴う国内の設備投資意欲や雇用情勢の改善が見られます。

このため、有効求人倍率は高止まりとなっており、当社グループにとって、顧客ニーズに応える人材の採用は厳しさを増しております。

このような環境下、当社グループは派遣単価や配属可能人数等を重視し注力すべき案件の発掘を行い、社員の採用に取り組んで参りました。また、技術者派遣の領域においては配属前のCAD研修等の増強を進めて、スキルアップやキャリアアップを推進いたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は15,144百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益は1,057百万円（前年同期比8.5%増）、経常利益は1,078百万円（前年同期比8.0%増）、四半期純利益は679百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

セグメント別の業績の概要は、次のとおりです。

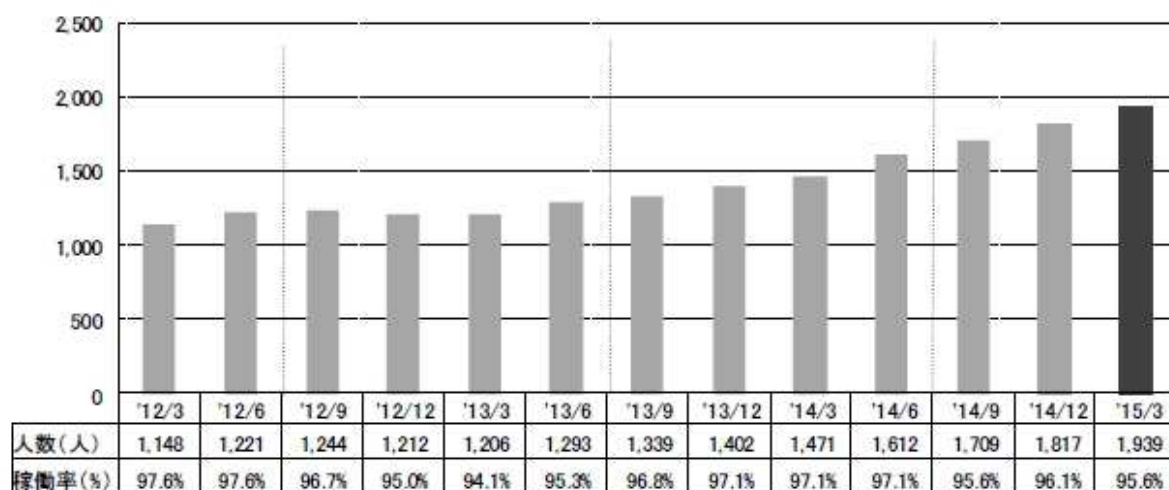
（技術者派遣・請負・委託事業：株式会社トラスト・テック、香港虎斯科技有限公司）

当セグメントは、研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託の事業を領域としております。

当第3四半期連結累計期間においては、輸送用機器関連企業、特に自動車、航空機関連での設計、生産技術、試験の業務領域に加え、半導体製造装置企業の生産設備関係等における技術者派遣のニーズが、期初から変わらぬ高い状況で推移いたしました。当社は全国規模の中途採用でこれらのニーズにこたえる技術者の配属を進めるとともに、派遣契約終了者の再配属の強化を行ったことにより、稼働する技術者数が順調に増加いたしました。

平成27年3月末時点の当セグメントに従事する社員数は、第2四半期連結会計期間末から122名増員、前期末からは327名増員の1,939名（前年同期末比468名増）となりました。また、技術者の増加に伴い売上高は伸長し、大幅な増収増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は9,066百万円（前年同期比30.2%増）、セグメント利益は936百万円（前年同期比20.8%増）となりました。



※ 人数：月末技術者数 稼働率：月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

なお、人数には当該セグメント売上計上分に対応したコンサルタント業務委託先の技術者数を含んでおります。

(製造請負・受託・派遣事業：株式会社T T M)

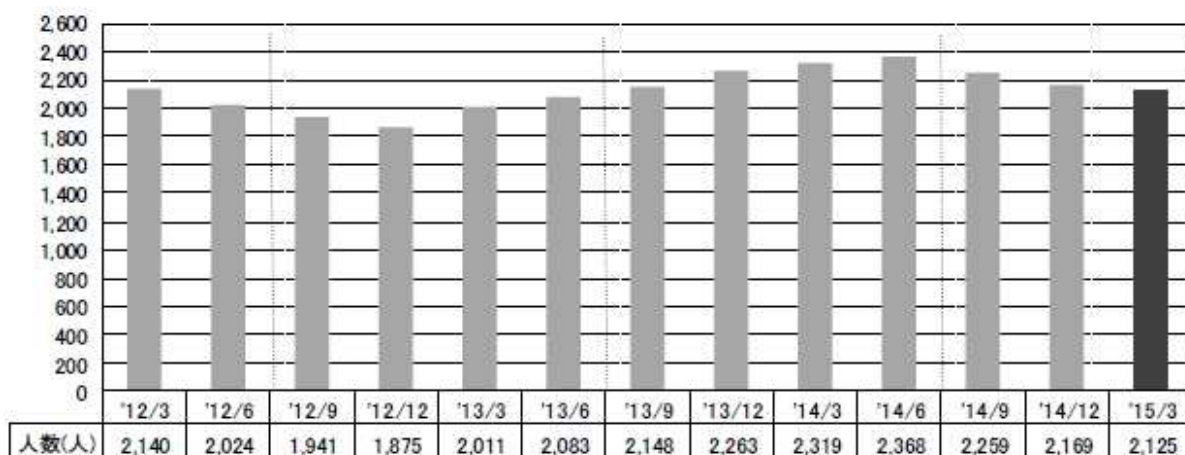
当セグメントは、顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業を領域としております。

当第3四半期連結累計期間においては、自動車関連や空調用機器などの企業の増員要請に対する配属が直近で増加してきたものの、期中に発生した一部顧客企業における減産、派遣抵触日到来による契約終了の影響を吸収することができず、当初想定よりも技能社員数が減少しました。

平成27年3月末時点の当セグメントに従事する社員数は、第2四半期連結会計期間末から44名減員、前期末からは243名減員の2,125名（前年同期末比194名減）となりました。

また、採用力の強化のために求人費の増強や技能社員の手当等を強化したことや、顧客企業の減産等に伴う休暇取得や退職時の諸経費の集中により技能社員にかかる労務費が当初想定より増加し、前年同期に比べ利益率が低下いたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は6,031百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は139百万円（前年同期比32.1%減）となりました。



※ 人数：月末技能社員数 当セグメントは有期雇用契約が多数を占め稼働率は実質100%です。

(障がい者雇用促進事業：共生産業株式会社)

厚生労働大臣の許可を受けた当社グループの特例子会社である共生産業株式会社において、当社が保有する賃貸不動産内のテナント事務所の清掃や地元企業からの軽作業などの業務を請負っております。

当該子会社を通じて障がい者の雇用促進に努め、恒常的に法定雇用率を上回る水準を維持しております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は23百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント損失は9百万円（前年同期はセグメント利益5百万円）となりました。

(不動産賃貸事業：株式会社トラスト・テック)

神奈川県相模原市に保有する賃貸不動産の入居率は、従前どおり高い水準を維持いたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は41百万円（前年同期と同額）、セグメント利益は11百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

(資産)

流動資産の残高は、5,400百万円（前連結会計年度末は5,283百万円）となり、116百万円増加いたしました。

主たる変動項目は、現金及び預金（前連結会計年度末比114百万円減）、受取手形及び売掛金（前連結会計年度末比213百万円増）、その他（前連結会計年度比17百万円増）です。

固定資産の残高は、1,164百万円（前連結会計年度末は1,172百万円）となり、7百万円減少いたしました。

主たる変動項目は、有形固定資産（前連結会計年度末比38百万円増）、無形固定資産（前連結会計年度末比27百万円減）、投資その他の資産（前連結会計年度末比19百万円減）です。

この結果、資産合計は、6,564百万円（前連結会計年度末は6,455百万円）となり、108百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債の残高は、2,505百万円（前連結会計年度末は2,584百万円）となり、79百万円減少いたしました。

主たる変動項目は、未払費用（前連結会計年度末比298百万円減）、未払法人税等（前連結会計年度末比265百万円減）、未払消費税等（前連結会計年度末比178百万円増）、賞与引当金（前連結会計年度末比245百万円増）、その他（前連結会計年度末比61百万円増）です。

固定負債の残高は、33百万円（前連結会計年度末は38百万円）となり、4百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,538百万円（前連結会計年度末は2,622百万円）となり、84百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は4,025百万円（前連結会計年度末は3,832百万円）となり、192百万円増加いたしました。

主たる変動項目は、利益剰余金の四半期純利益（679百万円）による増加と配当金（前期未配当金286百万円、当期中間配当金239百万円）の支払いによる減少、ストック・オプション行使（39百万円）による資本金及び資本準備金の増加です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月8日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,429,972	2,315,904
受取手形及び売掛金	2,388,728	2,602,250
その他	464,660	481,953
流動資産合計	5,283,361	5,400,108
固定資産		
有形固定資産	193,996	232,959
無形固定資産		
その他	145,318	117,744
無形固定資産合計	145,318	117,744
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	584,262	579,543
その他	248,479	233,863
投資その他の資産合計	832,742	813,406
固定資産合計	1,172,057	1,164,109
資産合計	6,455,419	6,564,217
負債の部		
流動負債		
未払費用	1,447,564	1,148,669
未払法人税等	356,055	90,417
未払消費税等	356,383	534,687
賞与引当金	134,734	380,708
その他	290,117	351,159
流動負債合計	2,584,855	2,505,641
固定負債		
退職給付に係る負債	5,854	6,152
その他	32,282	27,027
固定負債合計	38,137	33,179
負債合計	2,622,992	2,538,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,492,690	1,512,290
資本剰余金	650,175	669,775
利益剰余金	1,694,840	1,847,440
自己株式	△32	△32
株主資本合計	3,837,673	4,029,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	21
為替換算調整勘定	△5,250	△4,098
その他の包括利益累計額合計	△5,247	△4,077
純資産合計	3,832,426	4,025,396
負債純資産合計	6,455,419	6,564,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	12,909,119	15,144,359
売上原価	9,758,723	11,613,898
売上総利益	3,150,395	3,530,460
販売費及び一般管理費	2,176,069	2,473,085
営業利益	974,326	1,057,375
営業外収益		
受取利息	363	477
助成金収入	21,366	13,525
為替差益	205	6,205
その他	2,718	1,863
営業外収益合計	24,654	22,071
営業外費用		
支払利息	229	201
その他	90	407
営業外費用合計	319	608
経常利益	998,661	1,078,838
特別利益		
固定資産売却益	-	42
特別利益合計	-	42
特別損失		
固定資産除却損	2,068	785
支払負担金	-	5,825
特別損失合計	2,068	6,610
税金等調整前四半期純利益	996,592	1,072,269
法人税、住民税及び事業税	355,886	304,911
法人税等調整額	47,863	88,242
法人税等合計	403,750	393,154
少数株主損益調整前四半期純利益	592,842	679,115
四半期純利益	592,842	679,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	592,842	679,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	18
為替換算調整勘定	△634	1,151
その他の包括利益合計	△634	1,170
四半期包括利益	592,208	680,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	592,208	680,285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,961,602	5,901,100	6,710	39,705	12,909,119	—	12,909,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	16,207	1,386	17,593	△17,593	—
計	6,961,602	5,901,100	22,917	41,091	12,926,712	△17,593	12,909,119
セグメント利益	775,245	205,723	5,648	12,043	998,661	—	998,661

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,066,378	6,031,475	6,800	39,705	15,144,359	—	15,144,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	16,412	1,386	17,798	△17,798	—
計	9,066,378	6,031,475	23,212	41,091	15,162,157	△17,798	15,144,359
セグメント利益又は損失(△)	936,384	139,703	△9,110	11,861	1,078,838	—	1,078,838

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。